

HS ニュースレター

新春号・2017年新年会特集

2017年の年頭にあって(幹事・田中祥司)

近況報告・お薦めのイベント(福土正直、島津通之)

ハートストック・文化評論(針谷博史)

2017年の年頭にあって 幹事田中祥司

新 念明けましておめでとうございます。本年もハートストック会員の皆様と一緒に世の中の変革の流れを捉え、皆様のご活躍の一助となる研究会活動を行いたく思っております。

昨年は、1月に民主進歩党蔡英文氏が台湾総督に選出。3月には、一昨年11月パリに続くブリュッセル中心部でのISによる無差別テロ。6月にはイギリス国民投票によるまさかのEU離脱の可決。止めは何と言っても12月のアメリカ合衆国大統領選でトランプ氏が第45代大統領として選出。韓国でも崔順実(チェ・スンシル)問題により朴槿恵政権は制御不能の状態。

政治、経済、社会活動でくすぶっていたものか、思ってもみなかった方向性に一気に動き始めた1年でした。8月のリオデジャネイロ・オリンピックでは日本選手の大活躍もありましたが、色々あり過ぎて遠い昔のように感じられます。

2012年12月から始まった第2次安倍政

権も5年目に突入しました。アベノミクスと言われる3つの矢(大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略)も大きな成果は出ず、未だ低成長に甘んじています。

従来型金融政策が機能しない理由は、民間企業の国内での投資意欲の無さと消費者の低欲望だと考えています。ピークが過ぎ人口減少社会となった今、子供が減り高齢者ばかりが増えて行きます。住宅は空家率が13%を超え、社会的インフラも一通り完了した状態の日本。この状態では企業も生き残るために、伸び盛りのアジアに目が行っても、国内投資には積極的になりません。

今後のハートストック研究会でも、どうしたら衰退を防げる社会を作れるか、どこかにビジネスチャンスは無いのかといった話題を取り入れたいと思っております。

今年もぜひ昨年以上の皆様方のご協力、ご関与をいただきたく、なにとぞよろしくお願いいたします。

(幹事・田中祥司)



上：開会式の挨拶を神妙に聞く会員

中：情報や意見を交換する会員たち

下：乾杯で盛り上がる新旧の世話役

ハートストック研究会とは

「ハートストック研究会」は、モノのストックだけでなくハート(心)のストックを豊かにするにはどうしたらいいかを追求する人たちの集まりで、誰でも入会できます。東京や地方さらには世界各国の生活や仕事の問題を、土地や住宅といったモノのストックのあり方から、人の考え方や気持ちといったハートのストックのあり方まで議論して自らの心を豊かにすることを目的としています。

HS研究会新年会が例年通り綱町三井倶楽部で開催

去る1月11日に、HS研究会の新年会が、3年連続で綱町三井倶楽部別館で行われました。昨年後半に新しく幹事を引き受けられた田中さんの司会で、まず会場のアレンジなどでお世話になった針谷さんが開会の辞を述べ、これからの会員の公私にわたる変化の時代にハートストックも「柔軟」に対応していったらどうかという示唆がありました。

それからは、美味しい食事と飲み物とともに、研究会の定例会ではゆっくり話ができなかった

会員同士の挨拶や情報交換などが続き、上の3枚の写真および以下のリンクにある写真に見られるように、とても楽しい雰囲気の時間が過ぎてゆきました。

開会から2時間の制限時間が来たところで、閉会式が行われ、前幹事の飯窪さんから閉会の辞があり、田中さんと針谷さんからそれぞれ一本締めと三本締めで、文字通り今年の新年会を締めくくりました。以下が写真集です(宮尾)

<http://glocom.blog.so-net.ne.jp/2017-01-12>

HS ニュースレター

近況報告

福土正直「柏における巨大な空き家と巨大な貸家」

全国各地で空き家問題が深刻化しているが、昨年10月、柏駅前に総面積32,593㎡（およそ1万坪）の巨大な空き家が出現した。43年間にわたり柏駅前再開発のシンボルとして柏の顔であったSOGOの閉店によるものである。最盛期には年間500億円の売り上げを誇ったが、近年は120億円台まで減少していた。閉店が発表になった昨年の3月以降、跡地の利用について商工関係者を中心に、官民あけて誘致活動を行っているが、未だに見通しがたっていない。照明が消え、真っ暗な巨大な箱として新年を迎えたこの空き家は今後どのようなのだろうか。

一方、TX線柏の葉キャンパス駅西口駅前に、現在2棟のタワーマンション（同型、同規模）が建築中である。完成は今年の3月末の予定である。1棟当たりの総面積は33,853㎡（こちらも約1万坪）、地上36階建て、総戸数約350戸という大型マンションである。1棟は、分譲マンションとして販売中であるが、もう1棟は非分譲であり、全戸賃貸住宅として供給される。当地域で大型のタワーマンションの全戸が賃貸住宅として供給されるというのは、きわめて異例である。事業者側は、分譲による居住者の固定化を避けることにより、街の継続的な活性化を計りたいとしているが、かなりの冒険に思われる。成果を見守りたい。

お薦めのイベント

島津通之「一般公開セミナーについて」

私は公益社団法人埼玉県不動産鑑定士協会に所属していますが、来たる3月28日に参加無料の公開セミナー「経済社会と埼玉県の不動産価格」の開催を企画しました。目玉は森永卓郎さん、吉野薫さんです。詳細は以下の通りです。

日時：2017年3月28日（火）13:30～17:00

会場：ホテルブリタント武蔵野2階

（さいたま市中央区新都心2-2）

第1部 H29 地価公示にみる埼玉県の不動産市況

講師：山口和範（地価公示埼玉県代表）

第2部 東京オリンピック後の不動産市場

講師：吉野薫（不動産エコノミスト）

第3部 モリタク流経済ニュース裏読み術

講師：森永卓郎（経済アナリスト）

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0108/library-info/28seminar.html>



ハートストック・文化評論

針谷博史「多様な世界が素晴らしい」

テレビの現状は目を覆わんばかりですが、ドキュメンタリー系とか、一部には素晴らしいものが有ります。例えばEテレの「ハートネットTV」とか「バリバラ(バリアフリー・バラエティー・ショー)」は共に「生きづらさを抱えるすべてのマイノリティ」に向けたユニークな番組を流し続けています。LGBTにもかなり前から取り組んでおり、以前はその内容の生々しさに仰天したものでした。

バリバラが注目を集めたのは昨年8月末、某局の長時間チャリティー番組にぶつけた「笑いは地球を救う」でしょう。障害者への視点が、とかく健常者の上から目線に陥りがちな所を、「感動ポルノ」と問題提起した力作で、出演者も様々な障害者とかマイノリティ。しかし皆、輝いていました。戦中戦後のルポでは、大島の若年精薄者養護施設・藤倉学園が強制疎開させられ、移転先の厳しい気候と食糧難の中で何人もの若者が死に至ったことも知りました。この施設は何度か鑑定をしていたのですが全く知りませんでした。

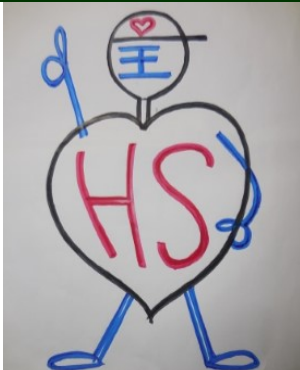
昨秋の「吃音の落語家、桂文福」も私自身がどもりであり、あった事からも驚嘆でした。間を巧く取るとか決してツカえない相撲甚句に乗せて語るとか、自分の弱みを強みに変え個性としています。吃音こそが私を伸ばしてくれたし、直すつもりもないという言葉は感動的でした。

暮れのN特「自閉症の君が教えてくれたこと」も人の能力と多様性の素晴らしさを実感させてくれました。矢張り相模原事件の逆の志向が益々求められていると強く感じます。

コメント：宮尾尊弘

針谷さんの投稿には、はっとさせられました。芸術や芸能は人気や数字を狙って少数派を切り捨てる傾向が顕著です。色々な障害（障害）のある人の参加や協力によってバリアフリーな作品を作っていくことが可能かつ必要ではないでしょうか。

ハートストックくん（HSのキャラクター）



編集後記：ハートストックの新たな1年に向けて

ハートストック研究会が1990年前後に天草の空港建設と地域開発に協力した専門家グループによって結成されてから27年目に入りました。今年も新年を迎え、初心に戻って新たな研究会活動に励みたいと思います。

そのための感性を刺激(?)するために、3年前に私が提案して会員の「承認」をいただいたマスコットキャラクター「ハートストックくん」を再度掲載してみました。HSは社会・経済問題の「審判たれ」というメッセージを込めたイラストです。

また昨年末に我が家の大掃除の際に走り書きの楽譜が見つかった「ハートストック」のテーマソングも以下で公開します。ぜひ歌ってください。
<https://drive.google.com/file/d/0BwdfatMQgtDzTzNOR3laQ0hoZTg/view>
(宮尾尊弘:NL・ブログ担当)

HS研究会2017年度事務局
幹事・会計：田中祥司
顧問：二木憲一 ML担当：島津通之